



## 理事長報告



### 第4代理事長 加藤 健一

本年度、一般社団法人北名古屋青年会議所は、『未来志向～今に感謝し、前人未踏の道を切り拓く～』をスローガンに掲げ、一年間活動に邁進して参りました。

過去を振り返ってみれば、この素晴らしいまちで青年会議所運動を展開できる今、この素晴らしい国に生まれ住み暮らしている今がどれだけ恵まれているか、気づくことができるはずです。その上で、未来を見据えた時、この恵まれている環境を維持・発展させるために、私たちが取り組んでいかなければいけない課題が多いことも分かります。「新現代の黎明期」、「時代の転換期」と言われる今、未来を見据えて率先して考え、行動を起こさなければならないのは我々青年です。「新現代の日本の再建は我々青年の仕事」なのです。そのような問題意識から、本年度は、このまちの未来、この国の未来、この青年会議所の未来を見据えて、①子どもたちが成長するにふさわしいまちづくり、②急激な少子高齢化と人口減少に向き合う、③北名古屋のまちのブランディングの確立、④地域住民の「主権者意識」の醸成、⑤北名古屋青年会議所という組織の継承と拡充を重点項目として掲げて運動に取り組みしました。

人は皆、前向きな考え方、肯定的な考え方をもって、今に感謝して、未来を見据えて生きることができれば、無限の力を発揮して、社業は勿論、自分の人生、家族の人生、そしてまち、さらにはこの国をもっと輝かせられる力を持っているはずです。とりわけ、我々JAYCEEは、自分の社業や人生だけでなく、まちの明るい豊かな未来を考えることできる特別な存在です。選ばれた存在です。是非とも自分で自分に限界を作らず、無限に成長をしていって頂きたい、それが私の切なる想いです。

そんな私が掲げたスローガン、運動は2018年末をもって一応の終わりを迎えた。しかしながら、「過去から学んで今に感謝して未来を見据えて生きる」という考え方が少しでもメンバーの皆様の方に根付いていくことを強く願います。そして、そのような考え方が、北名古屋青年会議所、そして皆さんの社業、人生、さらには、このまち、この国をますます明るく豊かなものにしていくことを強く確信しています。

結びとなりますが、第4年度の運動に関わっていただいた全ての方々に深く感謝申し上げますとともに、第5年度以降の運動に対し、引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。第四代理事長の報告とさせていただきます。

一年間本当に、本当にありがとうございました。